

■ 一般会計

市の会計の中心となる一般会計の決算額は、歳入が104億5,289万円、歳出が102億5,348万円で、1億9,941万円の黒字となりました。このうち、28年度に予算を繰り越して実施する事業の財源のほか、補助事業の精算還付金、基金積立金など翌年度に必要な分の1億8,536万円を差し引いた1,405万円が実質的な収支額となります。

また、長期借入金の市債残高は5億6,154万円増加して94億5,285万円となりました。市民一人当たり約102万円で、空知10市の中間に位置しています。

今後も、安全で安心な行政サービスを堅持できるよう、体力に見合った健全な財政運営を計画的に行うとともに一層の行財政改革を図っていきます。

一般会計に入ったお金は104億5,289万円

区分	決算額	対前年伸率	主な内容
市 税	8億8,962万円	△ 3.8%	市民税、固定資産税、市たばこ税など
地方交付税	46億9,359万円	0.0%	三笠市の財政力に応じた国からの交付金
国庫支出金	14億8,251万円	7.9%	国から三笠市に対して支出される負担金・補助金・委託金
市 債	12億 755万円	6.9%	市の長期借入金
そ の 他	21億7,962万円	29.4%	諸収入、使用料手数料、繰入金、道支出金など
合 計	104億5,289万円	6.6%	

一般会計が使ったお金は102億5,348万円

区分	決算額	対前年伸率	主な内容
投資的経費	22億 409万円	9.2%	道路・公営住宅・建設事業などの経費
物件費・維持補修費	16億8,446万円	15.9%	施設の運営、維持管理および行政事務費などの経費
扶 助 費	14億8,491万円	△ 1.2%	生活保護、障害者福祉・老人措置などの経費
人 件 費	13億2,162万円	△ 1.0%	特別職・職員の給与や議員の報酬などの経費
借入金元利償還金	7億4,817万円	△ 1.2%	長期借入金の償還などの経費
繰 出 金	6億4,225万円	14.6%	特別会計に対して一般会計が負担する経費
そ の 他	21億6,798万円	6.5%	貸付金、積立金、負担金、補助金(企業会計への補助金を含む)など
合 計	102億5,348万円	6.1%	

収入支出差引額	1億9,941万円
28年度への繰越財源	1億8,536万円
実質的な収支額	1,405万円

28年度への繰越財源とは…

28年度に予算を繰り越して実施する事業の財源のほか、補助事業の精算還付金、基金積立金など翌年度に必要な分

■ 特別会計 ～ 全4会計で黒字となりました

区分	収入	支出	差引
後期高齢者医療	1億9,226万円	1億9,077万円	149万円
国民健康保険	18億5,336万円	17億5,029万円	1億 307万円
介護保険	13億1,883万円	12億4,694万円	7,189万円
育 英	213万円	202万円	11万円
合 計	33億6,658万円	31億9,002万円	1億7,656万円

みかさの財政状況はどうなっているの？ 平成27年度決算報告

27年度の各会計決算が監査委員の審査を経て、市議会で認定されましたので概要をお知らせします。

【問合せ先】税務財政課財政係 ☎ 3186

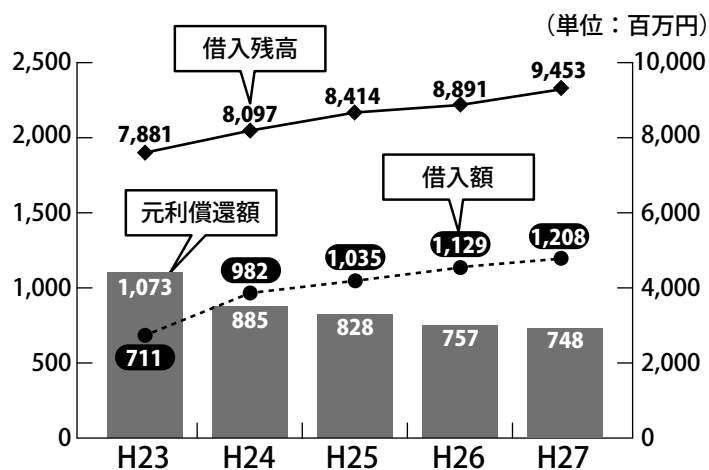
■ 企業会計

地方公営企業会計基準の大幅な見直しなど、制度改革の影響や病院事業の翌年度に精算する繰出金分を除けば、繰越損益では前年度並みでした。

区分	経理区分	収入	支出	差引損益など	前年度からの繰越損益	翌年度への繰越損益
水道事業	サービス部門	2億7,161万円	2億6,596万円	565万円	2億5,098万円	1億9,068万円
	建設設備部門	2億 9万円	2億6,604万円	△6,595万円		
下水道事業	サービス部門	5億9,536万円	5億7,048万円	2,488万円	1億3,931万円	1億6,804万円
	建設設備部門	5億 413万円	5億 28万円	385万円		
病院事業	サービス部門	23億3,133万円	20億8,803万円	2億4,330万円	1,506万円	1億3,540万円
	建設設備部門	3,771万円	1億6,067万円	△1億2,296万円		

■ 一般会計の長期借入金の残高などの推移

元利償還額は借入を抑制してきた結果、7.5億円となりました。また、27年度は新火葬場整備事業などの過疎対策で借入額が増加したため、借入残高は94.5億円となりました。



■ 会計別借入残高の状況

会計	長期借入金	一時借入金
一般会計	94億5,285万円	—
特別会計	0万円	—
企業会計	53億5,044万円	2,000万円
合計	148億 329万円	2,000万円

■ 財産の状況

【基金】

基金とは、特定の目的のために資金を積み立てた貯金のことをいい、利子を活用するものと元金を活用するものがあります。基金には市民生活交通確保基金や福祉基金など15の基金があります。

総額残高…20億4,283万円

【公有財産】

市の一般会計が保有している公有財産は土地や建物、有価証券などがあります。

◆土地	2,736万㎡
◆建物	26万㎡
◆有価証券	4,871万円
◆出資による権利	1億1,214万円

■ 平成27年度決算に基づく健全化判断比率などの状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく各指標は基準値を下回りました。

指標	内容	27年度決算	26年度決算	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	赤字なし	15.00%以上
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計、企業会計のすべての会計の赤字の割合	赤字なし	赤字なし	20.00%以上
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	6.6%	7.6%	25.0%以上
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	46.1%	70.5%	350.0%以上
資金不足比率	企業会計ごとの経水 道 事 業	資金不足なし	資金不足なし	経営健全化基準
	営状態の悪化の度下 水 道 事 業	資金不足なし	資金不足なし	
	合いを示す割合病 院 事 業	資金不足なし	資金不足なし	